

学校法人帯広葵学園

認定こども園

帯広の森幼稚園



令和6年度

No.7

令和6年7月4日

園長便り

園長:伊賀 真美

とがち童謡まつり

6月29日(土)とがち童謡まつりが、帯広市民文化ホールで行われました。

このイベントは、本園の母体である「学校法人帯広葵学園」が主催するもので、帯広地方に伝わる童謡「赤い鳥小鳥(北原白秋作詩)」を幼稚園教育に取り入れ、また、まちづくりの一助にということで継承されてきました。14回目を迎えた今年は、帯広と音更の2会場で開催されることになり、帯広会場には帯広の森幼稚園とつつじが丘幼稚園、そして帯広三条高校合唱部が出演しました。各学年のかわいい歌声や年長さんと三条高校のコラボレーションはいかがでしたか。改めて童謡のもつ豊かな心や温かさを感じていただけたら幸いです。

ご協力およびたくさんの方の温かい拍手にお礼申し上げます。

年少曲目

「とんとんとんとん」(アンパンマンバージョン)

「けんかのあとは」

年中曲目

「山の音楽家」

「それがともだち」

年長曲目

「園歌」「パレード」

★「赤い鳥小鳥」

★「赤い山 青い山 白い山」

★は三条高校とのコラボレーション



4曲を元気に立派に歌い上げた年長さん



振りつけもかわいい年少さん

太陽園を訪問 いっまでもお元気でね！！

6月20日(木)、年中さんが大正地区にある特別養護老人ホーム「太陽園」を訪問しました。この日に向けて練習してきた歌や踊りを披露すると、おじいちゃんおばあちゃんから拍手や温かい声援をいただき、みんなにこにこ笑顔になりました。

都市化や核家族化により家庭や地域で自然に行われていた高齢者と子どもの交流が減少しています。子どもにとって、おじいちゃんおばあちゃんとの交流は、伝統や文化、老いを学び、豊かな人間性や社会性を育む機会です。今後も本園ではこうした交流を大切にしながら、子どもたちに豊かな心を育てていきます。



人間だって動物Day

6月24日(月),年長さんが帯広動物園で「ふれあい動物園」を体験してきました。

動植物との触れ合いは,幼稚園教育が目指す「自然との関わり・生命尊重」の領域・内容になります。子どもたちは,身近な動物と出会い触れ合うことによって,生命の不思議さに気づき,命あるものとしていたわり,大切にす気持ちをもって関わるようになります。

年長さんは人間の鼓動やモルモットの鼓動を聞き,同じところや違うところに気付いたり,モルモットを撫でて柔らかな手触りに驚いたりしながら,あたたかな「命」を感じることができました。



ドクドク・心臓の音 やわらか〜し

きらきら



豚丼の日
うれしいな



はじめての水遊び(年少)



芽室南公園で水遊び(年中)



年長さんと手をつないで散歩(年少)



全身でボディペインティング(年長)

よろしくお願いします

5月から全体フリーの教諭が産前休暇のためお休みしています。かわりに,以前,本園で勤務していた教諭がフリーに入っておりますので,どうぞよろしくお願いいたします。



暑い!

7月に入り,暑さも本格的になってきました。園では各教室にエアコンを整備しております。また熱中症警戒アラートが発令した際は,外遊びを中止いたします。

ご家庭には十分な睡眠と栄養をお願いいたします。「豚丼の日」に管理栄養士がミニ食育を行い,豚肉にビタミンB1が含まれることを話しました。暑さに負けない体をつくる食品です。